

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		フランス語ⅠA（文法）F1108 Primary French A			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 黒川 修司		
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
1 フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。 2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。 (1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。（複言語学習） (2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。（複文化学習）									
【到達目標】									
1）文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。 2）発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。 3）フランス語を話すための基礎力を身につける。									
【授業計画と内容】									
1 教材は全部で20課ある。各課は、冒頭の複言語・複文化に関係している「テキスト」と文法事項の説明と練習問題で構成されている。前期は8課までする。 2 授業時間だけでは、フランス語の文法をマスターすることはできない。第2課からは、授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。 3 授業は、CALL教室で教師とともにする学習と教室外とする自律学習のブレンDED形式で行う。 4 授業開始の2週間を除いて、毎回1課ずつ進み、各課の終了後に小テストを行う。小テストは自己採点し、その結果の自己分析と学習過程に関するポートフォリオも毎回作成する。									
【履修要件】									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
【成績評価の方法・観点】									
成績評価は、前期末におこなわれる統一試験、小テストの点とポートフォリオ作成の熱心さに基づいておこなう。つまり、学習結果だけでなく、学習過程も評価の対象にする。詳細については授業で説明する。									
【教科書】									
大木・西山・グラツィアニ『改訂版グラメール アクティーフ』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35233-6（教科書についているポートフォリオを毎回提出する必要があるので、必ず購入すること）									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に紹介する									
（関連URL） http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/fr/menu.html （グラメール・アクティーフ） http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/call_fr/gaf/index.html （『グラメール・アクティーフ』）									
フランス語ⅠA（文法）F1108(2)へ続く↓↓↓									

フランス語ⅠA（文法）F1108(2)

『』に準拠する文法確認と確認練習))

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。

[その他（オフィスアワー等）]